ナ

つゞき

与三郎

つづき
与三郎

つぎ
与三郎

おとよ

つるき
太兵工

与三郎
次へ

つづき

ちゃうちゃうぐ面倒とうるさく
いとぐ悪くあるのを敬ひ呉まえと
仏のうちの悪分と思ってー
酒食ばかりまくこと勿めーぐ与

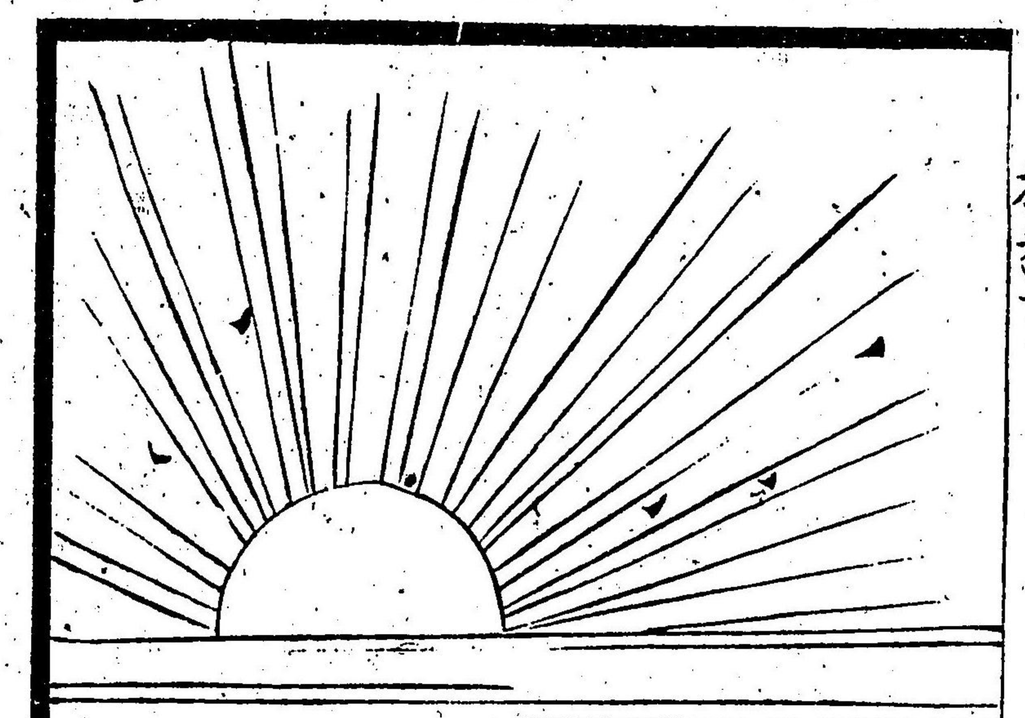
与三郎

ちゃうい仏よ旦那ーとたゆれぐ大のく
沈酔ーく義理も知らぬ深くとかとき
いそうと起出るく本文清次ぐ下駄と
出ーふうぐ前よりも
分けかふ作ってメも分
まべかうと一ト寸さみ
びーぐ千住まへ
行よろ寸そ万▲

かとき

▲かうとはちとよかりし番
堂とのつく死殺とうるさ
ふぐ家脇ちうる死
まうねる門口殺
めのしうるる大
九死酒ようち
抜かうこまか富
ぐ運のつた
四月の明の取
抜掃除のまう
てふうぐ死殺
とうるけ早速その
新へ屋ぐーぐ口ふう
かしふうるの死殺と▲

▲つくし
番堂
換掃屋の
ちうしなりー
ぐ見又換掃をとうん殺出ーあうて
つづく



御届
明治十五年六月廿六日
本所緑丁四丁目五十一番地
編輯兼出版人 荒川吉五郎
定價六錢